

肝付町立内之浦中学校

学校だより



内中ホームページ <https://arigato7.synapse.kagoshima.jp/>

内中ブログ <http://utinoura.blogspot.com/>

学校教育目標：ともに あしたを生きる生徒の育成

校訓 …… 創造・友愛・鍛練

可能性への挑戦

Chance Challenge Change

一念通天 (いちねんつうてん)

校長 岩元 邦俊

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りします。

年末年始はどのように過ごされましたか？私は、夫婦二人でのんびりと過ごしました。長女は福岡でイベントの準備・運営で帰省せず、二女は帰省しましたが特に何もなく、三女は年末から東京で推しのイベントに、(今年は二十歳の祝いなんです…。親は気合い十分でしたが、当の本人があまりその気もなく、あっさり…。)

令和6年のスタートは、辛いニュースが流れました。元日の夕方4時過ぎに石川県を震源地とした令和6年能登半島地震が発生し、多くの家屋の倒壊や200人以上の方がお亡くなりになったり、怪我をされたり、未だ行方不明の方も多数いらっしゃいます。2日には、羽田空港でJALの航空機と海上保安庁の航空機が衝突、炎上し、5名の海上保安官がお亡くなりになりました。海上保安庁の航空機は、石川県の被災地への救援物資を新潟の基地へ輸送する任務にあたっていたとのこと。大変残念でなりません。被災によってお亡くなりになった方、海上保安官5名の方のご冥福を祈ると共に被災され、今も避難所生活を余儀なくされている方に心よりお見舞い申し上げ、1日も早い復旧を願っております。

年始に当たり、何かいい言葉はないかといろいろ見ていたら、この言葉が目にとまりました。

「一念通天」、「強い決意をもって努力しつづければ、必ず成し遂げることができる」という意味をもつ四字熟語です。「一念」は「強い決意」、「通天」は「天に届くこと」という意味があります。「努力し続ければ、必ず成就する」という言葉と、よく似ていますよね。

さて、2024年、令和6年がスタートしました。今年は、辰年です。

辰年はどんな年になるのでしょうか？2024年は甲辰(きのえたつ)です。

陰陽五行説によると「甲」は草木の成長を表す意味があり、植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があります。

そのため2024年辰年は、昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年になるということです。また、辰年にさらなる努力をすることで、成功にスピード感をもって近づける年となるそうです。

2023年卯年は準備の年でしたが、2024年はその準備した結果が実を結ぶ年となるそうです。

2024年は、ますます新しい技術(AIを活用した家電・ロボットなど)が普及し、また世界中の人がパリオリンピック(7~8月開催)で交流できるような年になるのではないのでしょうか。

三学期は一年の総まとめの学期、一・二学期で頑張ったことを結実させる学期です。今できていないことが少しでもできるように、できていることはより深くできるように頑張っていきましょう。1、2年生は次の学年への準備を、3年生はいよいよ受験がスタート。自分の将来や次へのステップに頑張ってください。

保護者の皆様、地域の皆様、内之浦中学校を今年もよろしくお祈りします。

第3学期始業式が実施されました。



1月9日(火)に、3学期始業式が実施されました。校長先生からの3学期に向けての心構えや各学年代表の決意の言葉が述べられました。3年生の横山直人さんからは、「3学期は、次学年の準備期間とともに0学期だ。」という言葉があり、生徒に響いていると感じています。今年度を良い形で締めくくってほしいです。



大隅スマートエネルギー会社様から本の寄贈がありました。(御礼)

大隅スマートエネルギー会社様から、本の寄贈がありました。主に環境に関する本が中心で、未来に向けて興味深い本がたくさんありました。早速、図書室に展示させて頂きました。これから本を読んで、生徒の考えがどのように変化するか楽しみです。寄贈をして頂き、ありがとうございました。

血液の役割について知ることができました。(3年生)



【講話の様子】



【教室内】

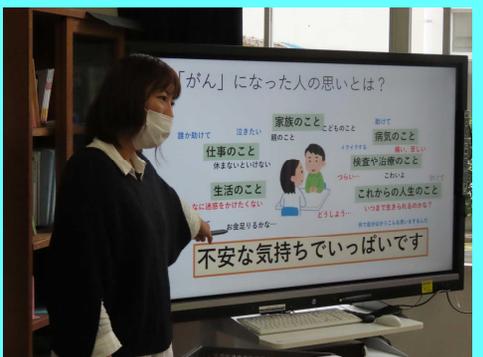


【生徒の学ぶ様子】

12月13日(水)に血液教室が実施されました。講師として、学校薬剤師の「田中宏之」先生をお招きして、血液の役割や病気・献血について理解を深めることができました。その中で、生徒たちは特に献血の大切さを実感できたようでした。

生徒の感想として、「献血はどのようにして人に届いているのか、どのくらいの人が必要としているのかが分かりました。『誰でもできる社会貢献』を私もしてみたいと思います。」といった感想が寄せられました。「誰でもできる社会貢献」という言葉を大事にし、最初の1歩を踏み出してほしいと思います。

「いのちの大切さ」について学ぶことができました。(2年生)



【講義の様子】



【教室内】



【生徒の様子】

12月20日(水)にがん教育の一貫で「いのちの授業」を実施しました。講師には、鹿屋医療センターより看護師「西小野 美咲」様にお越しいただきました。たくさんの経験から感じたことを生徒たちは、聴くことができました。

生徒の感想の中には、「西小野先生のように、自分以外の人のために必死に考えたり、勉強したりできるカッコいい大人になりたいです。」や「身近な人が、がんになってしまったとき、『ありえない』という気持ちでしたが、授業を受けて『落ち込むより、たくさん喋ってたくさん笑い合いたい』と思います」といった感想が寄せられました。

今回の授業を受けて、病気になっても「前向きに生きる」大切さを生徒たちは、学ぶことができたと思います。今後の学校生活に生かされると良いです。

【二月の行事】

九日(金)

P T A 運営委員会

P T A 役員選挙委員会

十一日(日)

建国記念の日

十三日(火)

学年末テスト

十六日(金)

学年末 P T A 給食試食会

二十三日(金)

学校保健委員会

二八日(水)

天皇誕生日

二九日(木)

S C 来校

一年々平和学習

二年々人権学習

三年々進路学習

※ 規則正しい生活を心がけましょう。

(早寝・早起き・朝ご飯)

※ 適度な運動をして、病気に対する抵抗力を高めましょう。

※ 感染症対策をしっかりとしましょう。(うがい・手洗い等)